

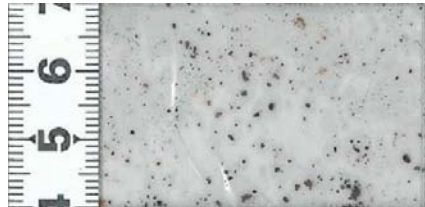
さび事例③’

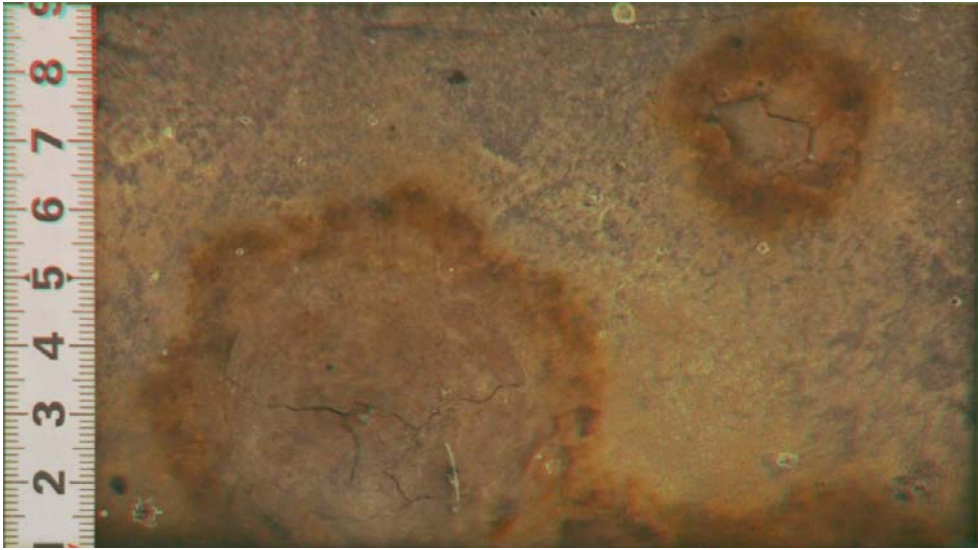
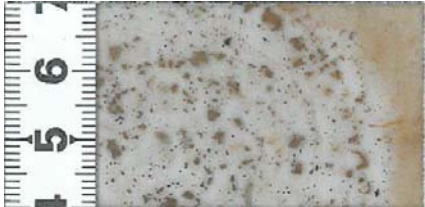
さびの進展の抑制が期待できないさび

ーコブ状さびー

(主に塩分を原因とする)

[表面処理剤有りの仕様で生成する]

No. ③'-1	
【3D写真】（アナグリフ）	
	
【セロファンテープ試験】	【さびに関する所見】
	さびには直径25mm以上のコブ状の起伏があり、色調は茶～褐色系より、コブ状さびと考えられる。 コブ状さびが広範囲に見られることから、架橋位置の環境が原因と推定される。さびの進展状況などから、塗装などの対策の判断を行うことがある。腐食状況を把握するためには、板厚減少量の調査が必要となる。
【近景写真】	【中景写真】
	
【さび厚】105 μm （9点平均）、36.0 μm （標準偏差）	【全景写真】
【所在地】新潟県新潟市	
【橋梁形式】単純鋼非合成I桁橋	
【経過年数】19年	
【近景部位】主桁ウェブ（内側）	
【周囲の環境】 ・ 日本海沿岸部Ⅰから南東に5km。 ・ 平野、河川上。 ・ 近接物なし。 ・ 凍結防止剤は散布しない。 ・ 表面処理剤あり。	

No. ③'-2	
【3D写真】 （アナグリフ） 	
【セロファンテープ試験】 	【さびに関する所見】 さびの粒子が表出していないことから表面処理剤が残存しているものの、直径25mm以上のコブ状の起伏より、コブ状さびと考えられる。 コブ状さびが広範囲に見られることから、架橋位置の環境が原因と推定される。さびの進展状況などから、塗装などの対策の判断を行うことがある。腐食状況を把握するためには、板厚減少量の調査が必要となる。
【近景写真】 	【中景写真】 
【さび厚】 1875 μm (9点平均)、446 μm (標準偏差)	【全景写真】 
【所在地】 新潟県新潟市	
【橋梁形式】 単純鋼非合成I桁橋	
【経過年数】 19年	
【近景部位】 主桁下フランジ上面（内側）	
【周囲の環境】 ・ 日本海沿岸部Ⅰから南東に5km。 ・ 平野、河川上。 ・ 近接物なし。 ・ 凍結防止剤は散布しない。 ・ 表面処理剤あり。	

No. ③'-3	
【3D写真】（アナグリフ）	
	
【セロファンテープ試験】	【さびに関する所見】
	さびの粒子が表出していないことから表面処理剤が残存しているものの、直径25mm以上のコブ状の起伏より、板継溶接部にコブ状さびが生成していると考えられる。 コブ状さびが広範囲に見られることから、架橋位置の環境が原因と推定される。さびの進展状況などから、塗装などの対策の判断を行うことがある。腐食状況を把握するためには、板厚減少量の調査が必要となる。
【近景写真】	【中景写真】
	
【さび厚】123μm（9点平均）、16.4μm（標準偏差）	【全景写真】
【所在地】新潟県新潟市	
【橋梁形式】単純鋼非合成I桁橋	
【経過年数】19年	
【近景部位】主桁下フランジ上面（内側）	
【周囲の環境】 ・ 日本海沿岸部Ⅰから南東に5km。 ・ 平野、河川上。 ・ 近接物なし。 ・ 凍結防止剤は散布しない。 ・ 表面処理剤あり。	